

NEW 高分子特性解析のために究極の強力なツール Agilent 1260 Infinity Bio-MDS でマルチディテクション解析

BIO
inert



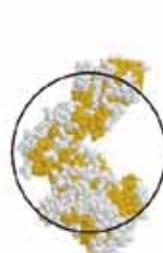
1260 Infinity GPC/SEC マルチシステム

生体高分子の詳細を知る

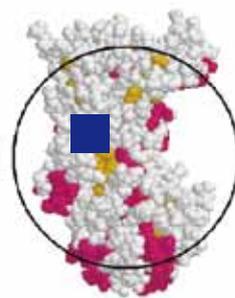
- 液クロ・検出器どちらも完全なイナート構造
- ダブル光散乱検出器と粘度計を搭載可能
- 極小のフローセルで感度と再現性を向上

Lysozyme
 $M_w=14.5$ kDa
 $R_h=1.9$ nm

Insulin - pH 7
 $M_w=34.2$ kDa
 $R_h=2.7$ nm



Immunoglobulin G
 $M_w=150$ kDa
 $R_h=7.1$ nm



Thyroglobulin
 $M_w=650$ kDa
 $R_h=10.1$ nm

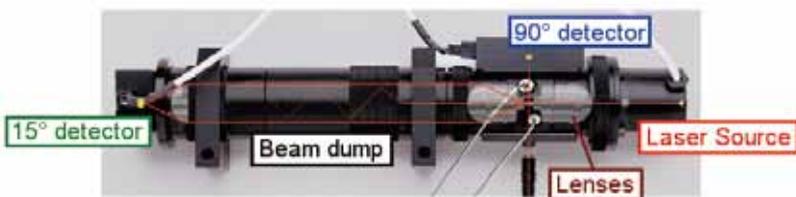
5 nm

接液部にステンレスを用いない完全なイナート検出器

- 静的光散乱検出器 (デュアルアングル)
- 新しい動的光散乱検出器 (デュアルアングル)
- 粘度計(シリカブリッジ)



1260 Infinity GPC/SEC マルチ検出器



アジレント GPC/SEC ソフトウェアでワークフローを簡素化

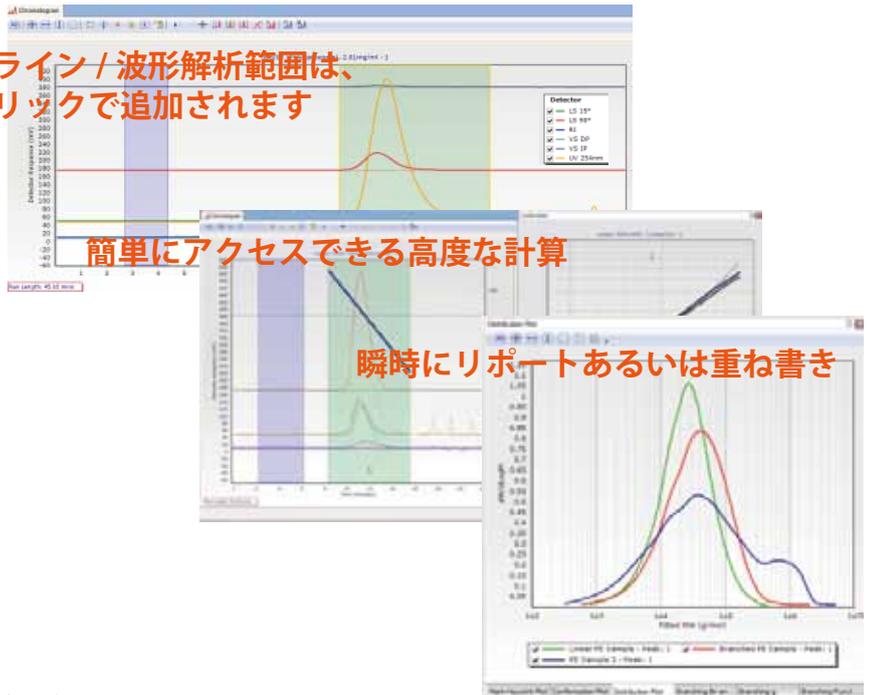


- 粘度計のプロット：
 - Mw 分布
 - MH プロット
 - Rh コンフォメーション
- 光散乱のプロット：
 - Mw 分布
 - Rg コンフォメーション
- トリプル検出のプロット：
 - Mw 分布
 - MH プロット
 - Rh コンフォメーション
 - Rg コンフォメーション

ベースライン / 波形解析範囲は、
ワンクリックで追加されます

簡単にアクセスできる高度な計算

瞬時にレポートあるいは重ね書き

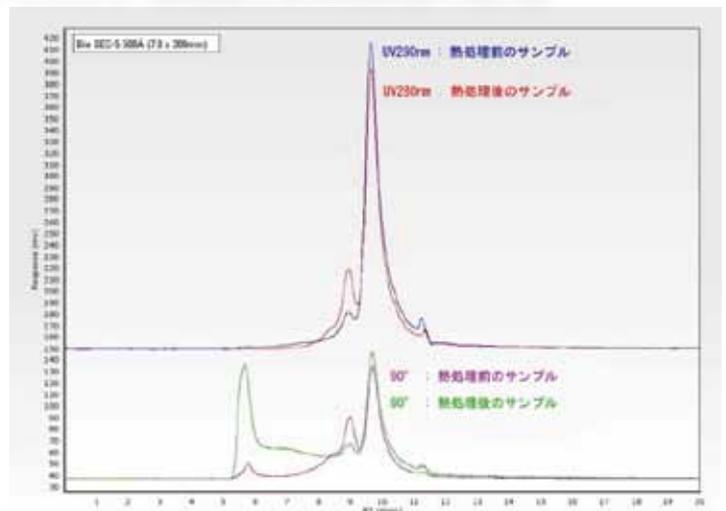


アジレントのソフトウェアは、
1260 インフィニティのコンポーネントのすべてをコントロールし、
すべての検出器からデータを取り込み、そして、すべての必要な計算を行います。

●アプリケーション例

ウシガンマグロブリンのアグリゲーションに対する過剰な熱処理の影響

モデルとしてウシガンマグロブリン (IgG 抗体) を用いて、
試料を 4 ミリグラム / mL の濃度で調製しました。
一部は、短時間に 70°C の温度にさらされ、室温に保たれた残りの
サンプルと比較されました。
より高い温度において、タンパク質は溶液から沈殿します。
光散乱検出は、より高い分子量領域において特に高感度で、
タンパク質中のアグリゲーションの検出を助けることができます。



Protein Aggregation: A Multiple Detector Investigation into Size Exclusion Chromatography
Linda Lloyd 1; Andrew Coffey 1; Keeley Mapp 1; James Martosella 2; Maureen Joseph 2
1. Agilent Technologies UK Limited, Essex Road, Church Stretton, Shropshire, SY6 6AX, UK
2. Agilent Technologies, 2850 Centreville Road, Wilmington, DE 19808, USA

